

法政大学経営学部への転・編入学を目指すみなさんへ

法政大学経営学部は、経営学部としては日本の私立大学で2番目に長い歴史を有しています。1959年の創設以来、60年以上にわたり、多くの人材を社会に輩出してきました。2016年に、グローバル・ビジネス・プログラムを開始し、英語で経営学を学べるようになっており、2019年のカリキュラム改革によって、経営学を基礎からより体系的に学べるようになっています。歴史は古く、カリキュラムは新しい経営学部で企業経営を徹底的に学びたい学生を歓迎します。

専門入門科目（組織論入門、戦略論入門、マーケティング入門、ファイナンス入門、経済学入門、統計学入門、簿記入門、情報学入門）は、所属学科にかかわらず、経営学部での学びの基盤になる科目です。受験生は転・編入学前にこれらの内容を学習していることが望ましいですが、そうでない場合には、転・編入学後のなるべく早い時期に履修することをお勧めしています。

受験に向けた小論文試験対策としては、経営学の基礎的な知識や考え方に加え、時事問題への関心が重要になります。面接試験では、志望動機や転・編入学後の学習計画を明確に説明できるようにしてください。

各学科の特徴は以下となりますが、経営学部は学科間の垣根が低く、他学科の授業やゼミを自由に履修できることが魅力の一つです。

（経営学科）

経営管理の基礎理論や組織、人事、会計に関する専門科目を配置し、経営管理のプロフェッショナル、ゼネラル・マネージャーなどの人材育成を目指します。

（経営戦略学科）

国際経営、企業戦略、企業家活動、経営分析などに関する専門科目を配置し、グローバルな戦略策定と事業創造を担う人材育成を目指します。

（市場経営学科）

マーケティング、産業・技術、金融・公共サービスなどに関する専門科目を配置し、マーケット創造を担う人材の育成を目指します。